

Treatment units

KaVo フラグシップクラスの主な機能を
コンパクトにまとめた搭載

KaVo uniQa

- 操作性のよいデジタルオペレーティング
- 標準搭載「ハイドロクリーンシステム」
- エルゴノミクスに基づいたチェア構造



KaVo
UNIQA

販売名:カボ ユニカ
一般的名称:歯科用ユニット
医療機器認証番号:304AKBZX00078000
管理医療機器 特定保守管理医療機器



NEW

Instruments

マルチ診断機器

3 in 1 ショット - 1回の撮影で3種類の診断画像を同時に得る

KaVo ダイアグノカム Vision Full HD

- X線フリーで歯が見える(※トランസイルミネーションモード)
- Full HDでいつでも鮮明な画像
- 歯科衛生士の方も使用可能
- 患者さんとの優れたコミュニケーションツール
- 優れた衛生コンセプト

3 IN 1



販売名:ダイアグノカム Vision Full HD

一般的名称:歯科用口腔内カメラ 医療機器認証番号:305AIBZX00001000 管理医療機器

Instruments

ハイパワー、静音設計、安全性と操作性

マスタートルク LUX M9000L

タービン

- ハイパワー31W*(3.5bar時)
- ダイレクトストップテクノロジー
約1秒でバーの回転が停止
- サックパック0.00001bar以下
- 4ホールスプレー
- 高周波音を抑えた静音設計
- 選べるカラーバリエーション
- 交換可能なスプレー水フィルター
- 他社カーリングモデルあり(シロナカーリング用)



KaVo master series

販売名:マスタートルク
一般的名称:歯科用ガス圧式ハンドピース
医療機器認証番号:225AIBZX00056000
管理医療機器 特定保守管理医療機器

Air Polishing

健康な歯と明るい笑顔のために

プロフィーフレックス 4

歯面清掃用器具

- 先端のノズルを交換するだけで歯肉線上
および歯肉線下両方のクリーニングが可能
- 水とパウダーの混合噴霧システムを採用
パウダーの飛散を防ぎ、
歯面に優しいクリーニングの実現
- 術者に合わせてグリップスリーブの長さが変更可能



販売名:プロフィーフレックス 4
一般的名称:能動型機器接続歯面清掃用器具
医療機器認証番号:230AIBZX00026000
一般医療機器

Software

プランメカ Romexis 7

Powered by AI

CT画像からCAD/CAMデータまで
患者管理はこれ一つ。
やりたいがかなうソフトウェア



NEW



初出展

プランメカRomexisVR VRを使用して、
インプラント治療計画を体験いただけます。

次売名:プランメカRomexis
一般名称用や歯科用ワークステーション
/汎用面像診断装置ワークステーション用プログラム
医療機器承認番号:230ADBZI00070000

KAVO PLANMECA
カボ プランメカ ジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー
TEL.03-6840-2400 FAX.03-6866-7481
お問い合わせ先 TEL.0800-100-6505(フリーコール)
<https://www.kavo.co.jp>

日本デンタルショー2025 Japan Dental Show 2025

2025
9

26
金
(12:00-17:00)

27
土
(10:00-17:00)

28
日
(09:00-16:00)

会場 パシフィコ横浜
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

カボプランメカジャパンブース
ブース番号:No. C024

初発表!

▶▶▶ 新製品初展示

9/27土・28日

▶▶▶ ブース内セミナー開催!

Treatment units

モデルチェンジ

- ・高解像度タッチディスプレイ
- ・ワイドスクリーン

NEW

エステチカ E80 Vision

- インプラント用エンジンと直接接続
- チェアの水平移動・スローモーション機能で
術野の容易な位置調整
- UXライトテクノロジーを採用した新無影灯



販売名:カボ エステチカ E70/E80 ビジョン 一般的名称:歯科用ユニット
医療機器認証番号:227AIBZX00036000 管理医療機器・特定保守管理医療機器・設置管理医療機器

Imaging

CTのために設計された、プランメカ最高機種
Visoファミリーに新機種登場

NEW

プランメカ Viso® G3

プロフェッショナルのためのプレミアムなCBCT
見えなければ、診断できない



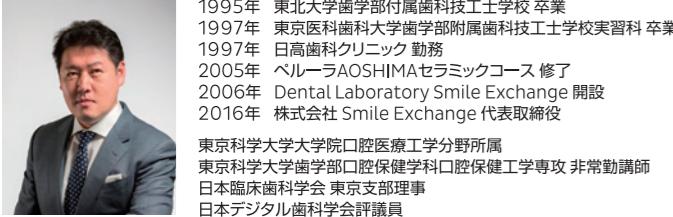
販売名:プランメカ Viso
一般的名称:アーム型X線CT診断装置
医療機器認証番号:301ADBZI00006000

KAVO PLANMECA

27 Seminar Program

KAVO PLANMECA

12:00 高橋 健代表
株式会社 Smile Exchange 代表取締役



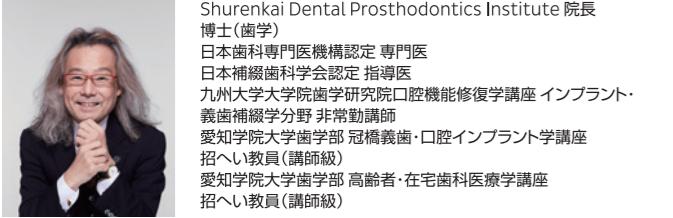
1995年 東北大学歯学部付属歯科技工士学校 卒業
1997年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 実習科 卒業
1997年 日高歯科クリニック 勤務
2005年 ベルーラAOISHIMAセラミックコース 修了
2006年 Dental Laboratory Smile Exchange 開設
2016年 株式会社 Smile Exchange 代表取締役

東京科学大学院口腔医療工学分野所属
東京科学大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 非常勤講師
日本臨床歯科学会 東京支部理事
日本デジタル歯科学会評議員

PROTAR咬合器 - 活用メリットと臨床の実際 -

歯科技工士として30年間補綴治療に従事する中で、咬合器は常に触れるものであり様々な咬合器を活用してきた。咬合理論は常に変化しそれに対応するように新たな咬合器やシステムが開発された経緯とは裏腹に、その煩雑さやハンドリングの良し悪しは、我々歯科技工士を悩ませてきた。その上で日常臨床において咬合器に求められる汎用性、柔軟性、精度、剛性、ハンドリングの良さがPROTAR咬合器が世界で愛される理由であろう。技工作業ではデジタルワークフローが主流となりつつある中、それらにも柔軟に対応性をもち、ますますその活用範囲が増えつつある。今回の講演では、PROTAR咬合器の活用メリット、基本ハンドリングや注意点について解説し、オプションパートの解説やデジタル活用の例を提示したい。

14:00 中村 健太郎先生
Shurenkai Dental Prosthodontics Institute 院長



最新デジタル技術が太刀打ちできないTooth Preparationの世界
～ヒトの手で形作られる支台歯をアシストするKaVoテクノロジーとは～

近年、デジタルデンティストリーの到来が叫ばれるなか、補綴歯科治療には、最新デジタル技術を以てしても、まったく太刀打ちできないプロセスが存在します。それは、トゥースプレバレーションとセメンティングです。今回は、KaVoテクノロジーを駆使することで、オールフリーハンドでありながらミクロ単位の精度を実現させるトゥースプレバレーションテクニックをお話します。ご期待下さい。

The Excellence of Practice Equipment 診療に、余白と集中を～KaVoが叶える術者と患者にやさしいチエアタイムマネジメント～

臨床経験はまだ浅いながらも、矯正・インプラント・デジタル技術を応用した補綴治療に日々取り組む中で、治療の質と効率を高めるには器材選びの重要性を痛感しています。尊敬する師のもとでKaVoユニットおよび関連機器に支えられながら、これまで数多くの全額的補綴治療を行なってきました。術者には直感的な操作性と高精度かつ再現性のある治療を、患者には日々の診療で安心して任せられる安定感を提供するKaVo製品は、「余白と集中」という診療環境をもたらしてくれると感じております。本講演では、私が考える「KaVo製品が臨床にもたらす価値」と「治療の質およびタイムパフォーマンスの向上」を皆様と共有させていただきたいと思います。

11:00 斎藤 隆輔先生
さいとうデンタルクリニック 院長



2005年 日本歯科大学生命歯学部 卒業
2013年 さいとうデンタルクリニック 開業
秋田一水会
日本臨床歯科学会 東京支部

PLANMECA CTを検討の先生へ ～私が導入の際に悩み決断した理由～

CT選びは「価格」ではなく「どう活用するか」が基準の一つになっています。本セミナーでは、私が導入を決断するまでに悩んだ点や比較検討した実体験を共有し、最終的にPLANMECA独自のソフトウェア「Romexis®」が診断の幅を広げ、医院の新たな「方向性を決める要」と判断した理由をお伝えします。

13:00 貞光 謙一郎先生
貞光歯科医院 院長



日本顎咬合学会前理事長
日本歯科審美学会理事
日本臨床歯科学会理事
朝日大学インプラント科非常勤講師

どこまでできる?歯科医院DX改革

近年、歯科医療の分野にもデジタル化の波が急速に押し寄せています。口腔内スキャナーによる印象採得や、CAD/CAMによる補綴物の削り出しに加え、審美領域ではスマイルデザインソフトの活用、さらにはCT画像とIOSデータを重ね合わせたサーボカルガガイド（インプラントステント）の作製など、デジタル技術は診療のさまざまな場面で活用されるようになってきました。また、バーチャル咬合器へのデータ移行や顎運動データの取り込みによって動的咬合の分析により従来の感覚や経験に頼っていた診断・治療計画が、より客観的で精密に行えるようになります。こうした状況の中で、皆さまの歯科医院では、どこまでデジタル技術を取り入れ、今後の診療のあり方をどのように描いておられるでしょうか。当院でのデジタル技術の取り組みをご紹介し、皆さまの今後の参考になればと思っています。

28 Seminar Program

KAVO PLANMECA

11:00 山崎 長郎先生
原宿デンタルオフィス 院長



1970年 東京歯科大学卒業
1974年 原宿デンタルオフィス開院

日本臨床歯科学会 理事長
iACD日本支部 会長
日本歯科審美学会
日本補綴歯科学会
日本デジタル歯科学会
IADFE Asia Regen

Planmeca Visoを活用したAirway Dentistry

近年睡眠障害は様々な社会的問題を引き起こしている。その高い頻度の割には原因が呼吸と睡眠にあるとは認知されていない。歯科治療の中においても閑心度が低いと言わざるを得ない。これらを考慮し、Airway Dentistryをより深く、また補綴の観点からの提案も含め、総合的にアピローチをしてみる。今回は特にAirwayの診断からいかにCT X線の情報が補綴的ソリューションを考えるかを中心に解説したい。その主たるソリューションは下顎舌側咬頭の削除を伴う、舌房のスペースが一つと咬合高径をコントロールして下顎位を前に無理しない範囲で位置させる等々である。また、従来の咬合再構成の手順を踏んでそのステップも併せて説明し包括的なAirway Dentistryの取り組み方をディスカッションして先生方の新たな興味を引き起こしてみたい。

10:00 北原 信也先生
TEAM東京 ノブレストラティブデンタルオフィス 総院長



American Academy of Esthetic Dentistry(AAED)会員
日本臨床歯科医学会(SJCD)指導医
日本歯科保存学会 専門医
日本審美歯科学会 認定医
日本大学歯学部 客員教授
昭和大学歯学部 客員教授

Romexis 7が可能にするインターディシプリンアリー
2012年に設立したTEAM 東京は、欧米諸国専門医による連携診療であるインターディシプリンアリーを日本ではじめて1つの医院内で提供したクリニックである。TEAM 東京では、専門医によるあらゆる歯科治療を受診でき、至高の歯科医療の提供を心掛けている。ここ数年で技工サイドだけでなくチアサイドでのデジタル化が加速している。限られた時間で至高の治療を提供するには、クリアなデータとソフトウェアによる治療サポートが欠かせない。また、同じソフトウェア上で患者とそれぞれの診療科そして技工をつなげることができるデジタル化は将来の歯科医療を大きく革新させると考えている。

今回は、最新のプランメカ Romexis 7を使用した治療連携について紹介したい。

12:00 中山 雪詩先生
佐賀中央歯科・口腔外科 院長



福岡歯科大学 卒業
佐賀大学医学部附属病院 歯科口腔外科学講座
医療法人社団 敬愛会 佐賀記念病院 歯科口腔外科 科長
佐賀中央歯科・口腔外科 院長
日本口腔インプラント学会専門医
日本口腔外科学会専門医
Digital Implant Meeting 主宰

抜歯即時埋入の診断と治療戦略

抜歯即時インプラント治療が臨床応用されてから30年以上が経過している。本療法は日常臨床に広く活用されており、治療期間の短縮や処置の回数を減らすことができるだけでなく軟組織の形態を保持することができるため患者にとって大きな利点となる。また抜歯即時インプラントは、待時インプラントと比較しても同等の生存率といわれている。

しかし抜歯後の骨治癒を待つことなくインプラントを埋入するため、抜歯窩の形態や骨質、軟組織などの状態を把握し適応症を選択することが必要となる。

本セミナーでは、症例を交えながら抜歯即時埋入の適応とその術式について解説する。

13:00 藤森 直子先生
株式会社 Team Grinn Tokyo 日米歯科衛生士



ニューヨーク大学歯学部歯科衛生士卒業
ニューヨーク大学歯学部非常勤臨床講師
東京オリンピック・パラリンピック歯科衛生士チーフ
日米歯科衛生士
株式会社TeamGrin'nTokyo 代表取締役

米国大学歯学部が教える 超音波スケーラーとエアスケーラーの活用法

皆さんのクリニックではどんな種類の超音波スケーラーとエアスケーラーを活用されていますか？何となくあるものを使っていたり、昔からずっとある物をそのまま使い続けていたりしていませんか？1ケース1ケース異なる症例に対してどの様に器具を有効的に使い分けしたらよいのでしょうか。今回は少しの知識と工夫を加える事で私たち術者側にも患者様へも負担が少なく更に安全で結果の出せる選択をすることができるようになるためのヒントをお話しさせて頂きます。そしてその少しの努力が、私たちにも患者様へもより満足度の高いメンテナンス・施術に変えていくことができるようになることを期待しております。

14:00 吉木 雄一朗先生
Y's デンタルクリニック 院長



2005年 日本歯科大学歯学部卒業
2006年 医療法人鉄焦会 亀田総合病院歯科センター 勤務
2008年 医療法人デンタルハート吉木デンタルクリニック 勤務
2009年 医療法人デンタルハートY'sデンタルクリニック 開設
2022年 Y'sデンタルクリニック リニューアル開設

日本臨床歯科学会名古屋支部部長
日本顎咬合学会認定医

「精密歯科治療を支えるストレスフリーユニットの選択 ～日常臨床におけるKaVoの真価～」

日々の臨床で最も多く使用するユニットには、操作性・快適性・精度の全てにおいてストレスフリーであることが求められます。とくに補綴・修復治療においては、精密な支台形成が治療結果の質を左右する重要な要素です。本講演では、私自身が日常臨床で使用しているKaVoのユニットと5倍速コントラを用いた具体的な症例を通じて、その優れた操作性と切削精度、患者・術者双方への負担軽減についてご紹介します。KaVo製品の導入が、精度と効率を両立する臨床の実現にどのように貢献するかをお伝えします。